

Ⅲ. 調査の結果

1. 仕事について

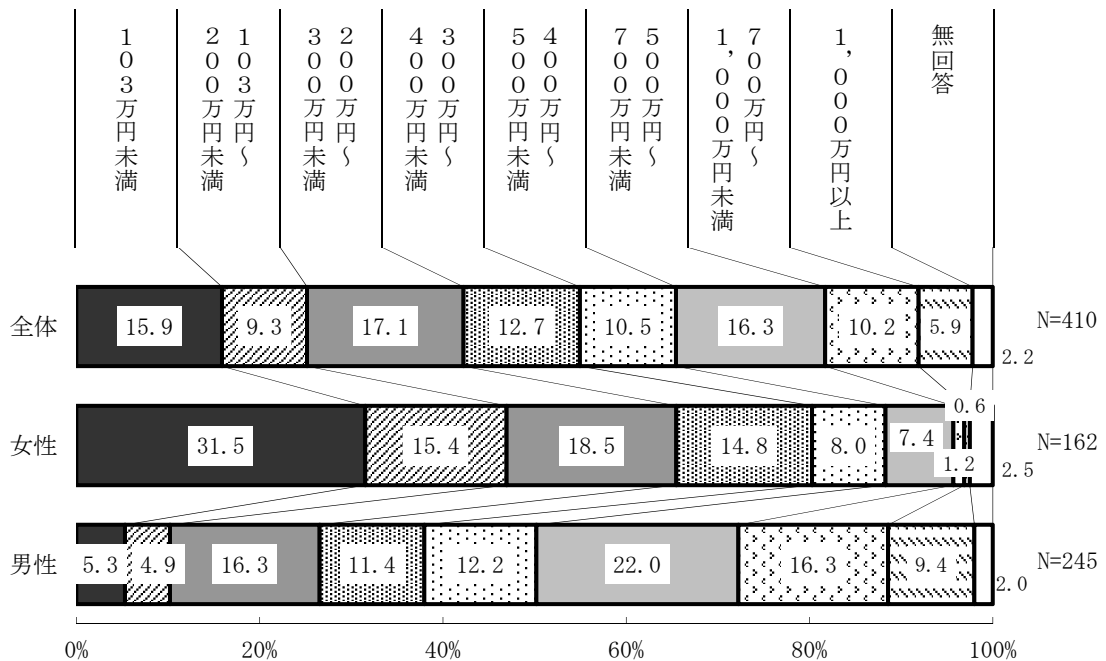
表 1-1 仕事の有無

(%)

	対象者数(人)	仕事をしている	仕事をしていない	無回答
全体	672	60.9	38.2	0.7
女性	313	51.7	47.3	1.0
男性	354	69.2	30.2	0.6

問 6 で①自営・自由業 ②お勤めのいずれかに○をされた「仕事をしている」方におたずねします。
 問 8 あなたの昨年 1 年間の収入（税込み）は、おおよそいくらでしたか。（○は 1 つ）

図 1-1 昨年 1 年間の収入（税込み）



■女性の年収は 3 人に 1 人が 103 万円未満

女性では 51.7%が、男性では 69.2%が何らかの仕事をしている。

女性では、「103 万円未満」が最も高く 31.5%で、『200 万円未満』が 46.9%を占めている。

男性では、「500 万円～700 万円未満」が最も高く 22.0%、次いで、「200 万円～300 万円未満」と「700 万円～1,000 万円未満」が同率で 16.3%である。

【性別・年代別】

表 1-2 性別・年代別 昨年 1 年間の収入（税込み）

(%)

		対象者数(人)	103万円未満	200万円～299万円未満	300万円～399万円未満	400万円～499万円未満	500万円～699万円未満	700万円～999万円未満	1,000万円～1,999万円未満	2,000万円以上	無回答
女性	20 歳代	24	16.7	29.2	29.2	12.5	8.3	-	-	-	4.2
	30 歳代	44	31.8	9.1	18.2	22.7	6.8	9.1	-	-	2.3
	40 歳代	35	37.1	14.3	11.4	8.6	11.4	14.3	-	-	2.9
	50 歳代	26	26.9	19.2	15.4	15.4	7.7	7.7	3.8	3.8	-
	60 歳代	27	44.4	14.8	18.5	11.1	7.4	-	3.7	-	-
	70 歳以上	6	16.7	-	33.3	16.7	-	16.7	-	-	16.7
男性	20 歳代	22	4.5	9.1	22.7	27.3	9.1	18.2	-	-	9.1
	30 歳代	55	3.6	3.6	18.2	14.5	14.5	40.0	1.8	-	3.6
	40 歳代	71	1.4	1.4	7.0	11.3	12.7	21.1	26.8	16.9	1.4
	50 歳代	43	-	-	11.6	2.3	9.3	23.3	32.6	20.9	-
	60 歳代	40	15.0	15.0	32.5	7.5	10.0	7.5	12.5	-	-
	70 歳以上	14	21.4	7.1	14.3	14.3	21.4	-	7.1	14.3	-

年収を年代別で見ると、男女で分布に違いがみえる。

女性では、20 歳代で「103 万円～200 万円未満」「200 万円～300 万円未満」が高く各 29.2%である。30～60 歳代では「103 万円未満」が最も高いものの、50 歳代では年収のばらつきが大きい。

男性では、20 歳代で「300 万円～400 万円未満」が最も高く、30 歳代で「500 万円～700 万円未満」、40、50 歳代で「700 万円～1,000 万円未満」が最も高い。

問9 直近1ヶ月で、1日のうちであなたが仕事（在宅就労を含む）や、家事・育児・介護等をしている平均時間は、平日、休日それぞれでどのくらいですか。（〇はそれぞれ1つずつ）

（1）仕事（在宅就労を含む） ※通勤時間を含めた時間でお答えください。

図1-2 1日の仕事の平均時間（平日）

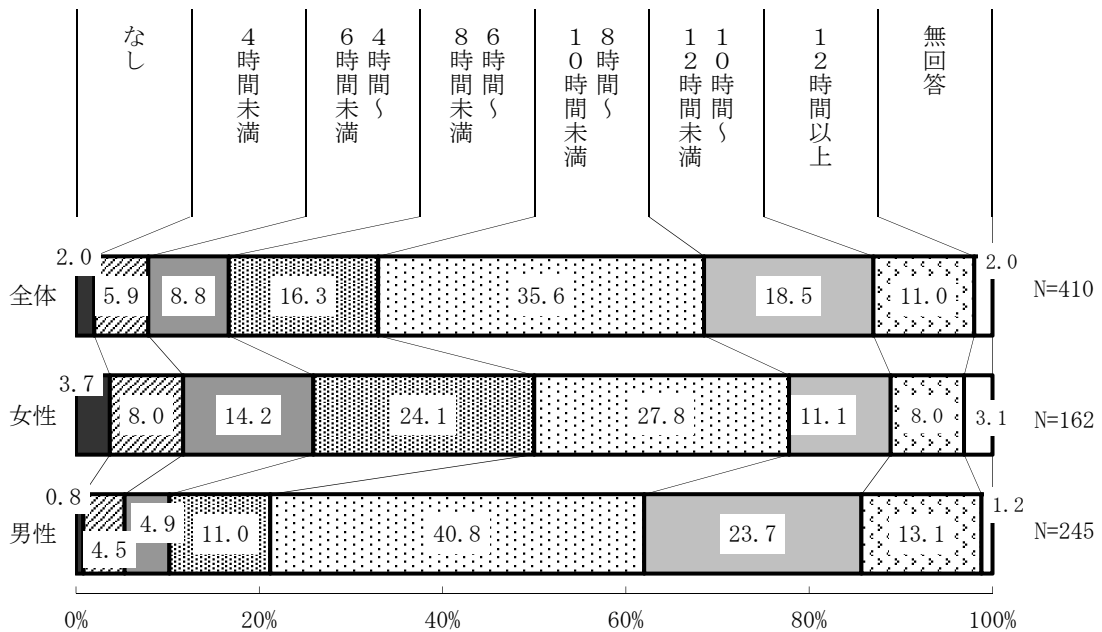
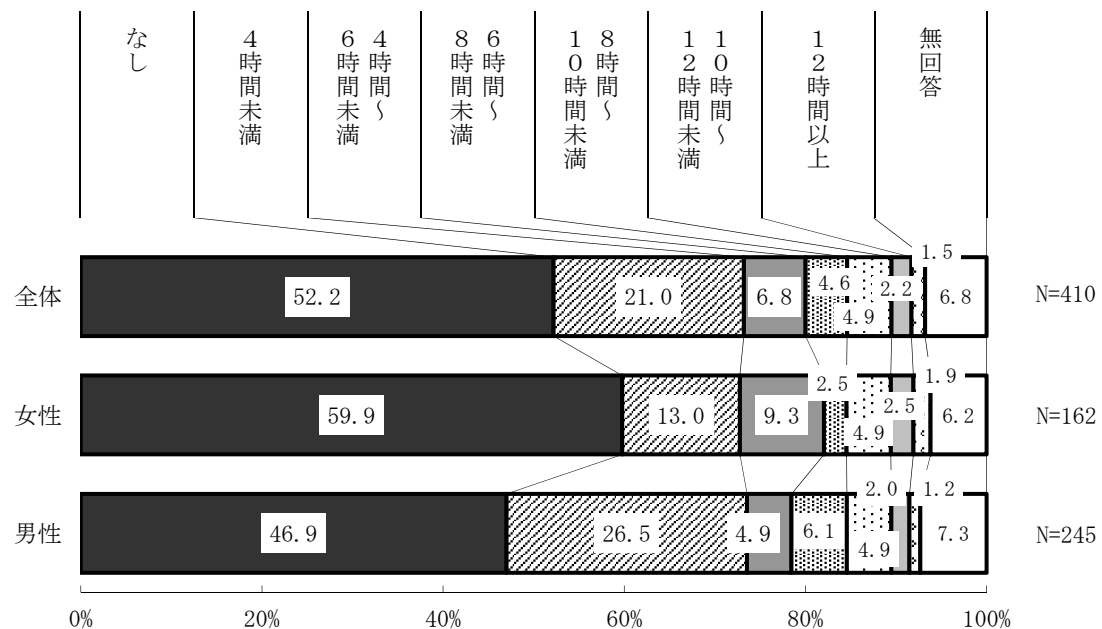


図1-3 1日の仕事の平均時間（休日）



■平日、女性は8時間未満が50%、男性は8時間以上が約80%

平日の場合は、女性では、「8時間〜10時間未満」が最も高いものの27.8%で、男性より13ポイント低い。次いで、「6時間〜8時間未満」が24.1%、「4時間〜6時間未満」が14.2%で、『8時間未満』が50.0%を占めている。その一方で、『10時間以上』は19.1%となっている。

男性では、「8時間〜10時間未満」が最も高く40.8%で、次いで、「10時間〜12時間未満」が

23.7%、「12時間以上」は13.1%である。

休日の場合は、女性では、「なし」が最も高く59.9%、次いで、「4時間未満」が13.0%、「4時間～6時間未満」が9.3%である。男性では、「なし」が最も高く46.9%、次いで、「4時間未満」が26.5%である。

【性別・年代別】

表1-3 性別・年代別 1日の仕事の平均時間（平日）

(%)

		対象者数 (人)	なし	4時間未満	6時間～4時間未満	8時間～6時間未満	10時間～8時間未満	12時間～10時間未満	12時間以上	無回答
女性	20歳代	24	12.5	-	8.3	20.8	37.5	12.5	8.3	-
	30歳代	44	4.5	6.8	13.6	25.0	29.5	11.4	6.8	2.3
	40歳代	35	2.9	2.9	14.3	14.3	42.9	8.6	11.4	2.9
	50歳代	26	-	7.7	15.4	30.8	11.5	15.4	11.5	7.7
	60歳代	27	-	18.5	18.5	33.3	14.8	11.1	3.7	-
	70歳以上	6	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7
男性	20歳代	22	-	4.5	4.5	9.1	50.0	18.2	13.6	-
	30歳代	55	-	-	1.8	5.5	40.0	29.1	20.0	3.6
	40歳代	71	1.4	2.8	1.4	5.6	32.4	35.2	19.7	1.4
	50歳代	43	2.3	-	-	16.3	53.5	23.3	4.7	-
	60歳代	40	-	12.5	7.5	25.0	45.0	5.0	5.0	-
	70歳以上	14	-	21.4	42.9	7.1	21.4	7.1	-	-

年代別でみると、女性では、20～40歳代で「8時間～10時間未満」が最も高く、50、60歳代では「6時間～8時間未満」が最も高い。

男性では、40歳代で「10時間～12時間未満」が35.2%で、年代層の中で最も高い。30、40歳代では『10時間以上』が49.1%、54.9%と約半数を占めている。

【性別・職業別】

表1-4 性別・職業別 1日の仕事の平均時間（平日）

(%)

		対象者数 (人)	なし	4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間～12時間未満	12時間以上	無回答
女性	正社員・正職員	59	6.8	-	-	20.3	44.1	15.3	13.6	-
	パート・アルバイト、派遣	61	1.6	9.8	23.0	36.1	11.5	4.9	6.6	6.6
	農林漁業者・自営業主	7	-	28.6	42.9	28.6	-	-	-	-
男性	正社員・正職員	142	-	0.7	1.4	8.5	43.0	31.7	14.1	0.7
	パート・アルバイト、派遣	21	-	23.8	19.0	19.0	28.6	4.8	4.8	-
	農林漁業者・自営業主	22	-	13.6	9.1	13.6	27.3	13.6	13.6	9.1

職業別でみると、女性では、「正社員・正職員」では「8時間～10時間未満」が最も高く44.1%、『10時間以上』は28.9%である。

「パート・アルバイト、派遣」では「6時間～8時間未満」が最も高く36.1%である。

「農林漁業者・自営業主」では「4時間～6時間未満」が最も高く42.9%である。

男性では、職業にかかわらず「8時間～10時間未満」が最も高い。

「正社員・正職員」では、その割合は43.0%であり、次いで、「10時間～12時間未満」が31.7%、「12時間以上」14.1%と、『10時間以上』の割合は45.8%を占めている。

「パート・アルバイト、派遣」では「8時間～10時間未満」「4時間未満」が20%台で高く、「農林漁業者・自営業主」では「8時間～10時間未満」が最も高く27.3%である。

(2) 家事・育児・介護等

図1-4 1日の家事・育児・介護等の平均時間（平日）

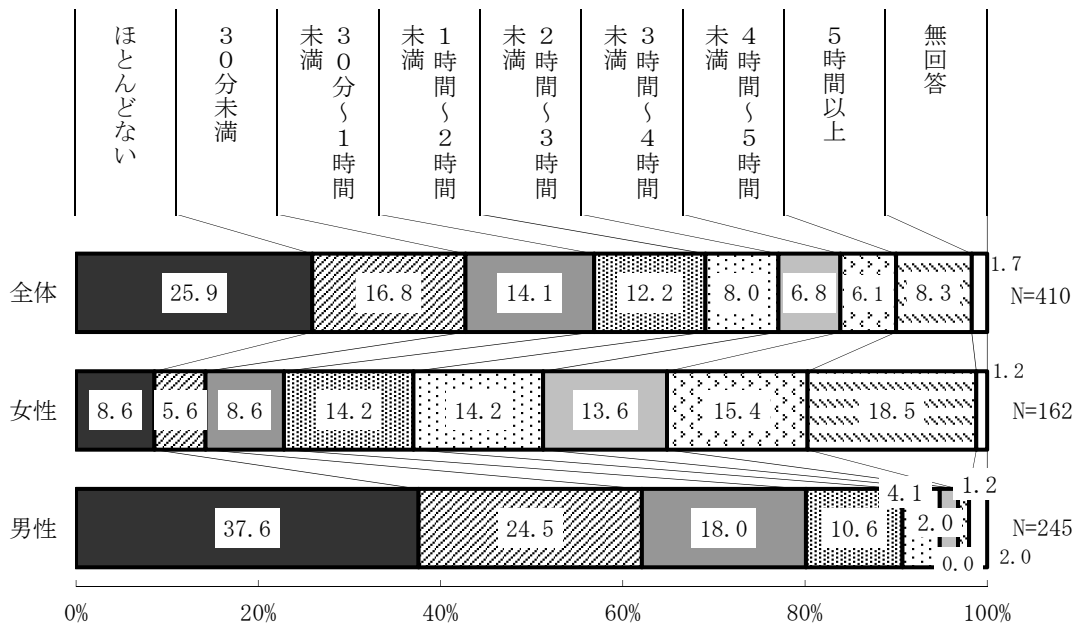
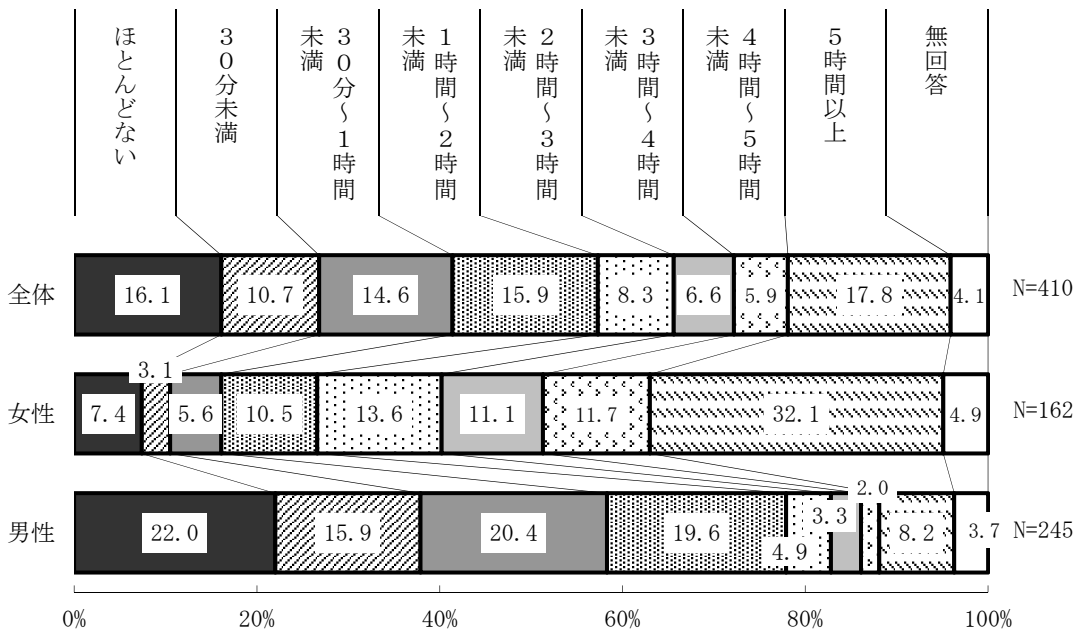


図1-5 1日の家事・育児・介護等の平均時間（休日）



■平日、休日とも、女性は「5時間以上」、男性は「ほとんどない」が最も高い

平日の場合は、女性では、「5時間以上」が最も高く18.5%、以下、「4時間～5時間未満」から「1時間～2時間未満」まで各15%前後である。

男性では、「ほとんどない」が最も高く37.6%である。「30分未満」は24.5%で、それらを合わせると60%を超える。

休日の場合は、女性では、「5時間以上」が最も高く、32.1%である。次いで「2～3時間未満」が13.6%、「4～5時間未満」が11.7%、「1～2時間未満」が10.5%である。

男性では、「ほとんどない」が最も高く22.0%で、平日よりも15.6ポイント低い。次いで、「30分～1時間未満」が20.4%、「1時間～2時間未満」が19.6%であり、平日よりも時間数は増えている。

【性別・年代別】

表 1-5 性別・年代別 1日の家事・育児・介護等の平均時間（平日）

(%)

		対象者数 (人)	ほとんどない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間以上	無回答
女性	20歳代	24	29.2	16.7	8.3	16.7	-	4.2	8.3	16.7	-
	30歳代	44	6.8	2.3	11.4	15.9	11.4	11.4	18.2	22.7	-
	40歳代	35	2.9	2.9	5.7	11.4	17.1	14.3	25.7	20.0	-
	50歳代	26	3.8	11.5	-	11.5	23.1	19.2	15.4	15.4	-
	60歳代	27	3.7	-	11.1	18.5	22.2	22.2	3.7	14.8	3.7
	70歳以上	6	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7	16.7	16.7
男性	20歳代	22	31.8	18.2	22.7	18.2	4.5	-	-	4.5	-
	30歳代	55	25.5	30.9	18.2	18.2	7.3	-	-	-	-
	40歳代	71	35.2	29.6	12.7	8.5	4.2	5.6	-	2.8	1.4
	50歳代	43	53.5	16.3	20.9	4.7	2.3	-	-	-	2.3
	60歳代	40	42.5	20.0	22.5	7.5	-	2.5	-	-	5.0
	70歳以上	14	42.9	21.4	14.3	7.1	7.1	-	-	-	7.1

年代別でみると、女性では、20歳代で「ほとんどない」が他の年代より高く29.2%である。30歳代と40歳代では「5時間以上」と「4時間～5時間未満」が各20%前後、50歳代と60歳代では「2時間～3時間未満」と「3時間～4時間未満」が各20%前後と、他の年代より高くなっている。

男性では、30歳代で「30分未満」が高く30.9%だが、それ以外の年代では「ほとんどない」が高い。50歳代では53.5%で最も高く、60歳代、70歳以上でも40%を超えている。

【性別・職業別】

表 1-6 性別・職業別 1日の家事・育児・介護等の平均時間（平日）

(%)

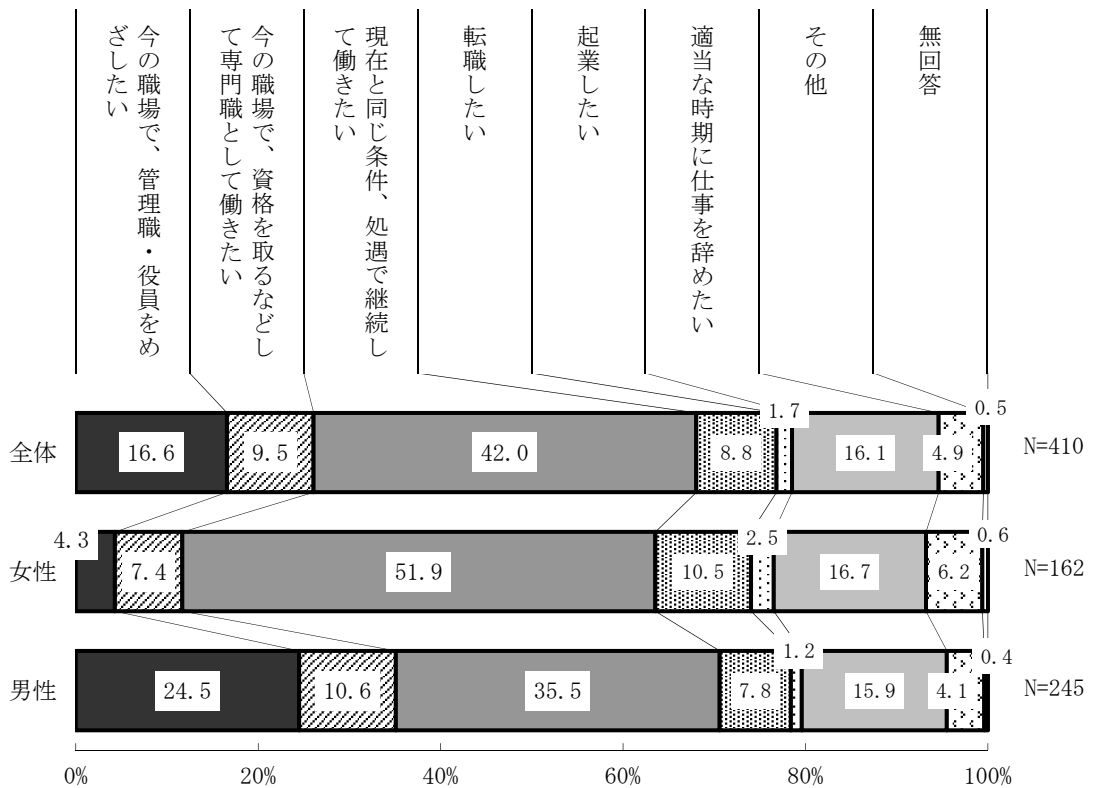
		対象者数 (人)	ほとんどない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間以上	無回答
女性	正社員・正職員	59	10.2	8.5	5.1	16.9	11.9	10.2	18.6	16.9	1.7
	パート・アルバイト、派遣	61	6.6	-	6.6	14.8	18.0	19.7	14.8	19.7	-
	農林漁業者・自営業主	7	-	-	42.9	14.3	-	-	-	42.9	-
男性	正社員・正職員	142	33.8	28.9	18.3	10.6	4.9	1.4	-	0.7	1.4
	パート・アルバイト、派遣	21	38.1	19.0	14.3	14.3	-	-	-	4.8	9.5
	農林漁業者・自営業主	22	31.8	13.6	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-	-

職業別でみると、女性では、「正社員・正職員」で「4時間～5時間未満」が最も高く18.6%である。「パート・アルバイト、派遣」では「5時間以上」と「3時間～4時間未満」が高く、各19.7%である。「農林漁業者・自営業主」では「30分～1時間未満」と「5時間以上」が高く、各42.9%である。

男性では、職業にかかわらず「ほとんどない」が最も高く30%台である。

問 10 働くことについて、あなたは今後どうしたいと考えていますか。(〇は1つ)

図 1-6 働くことについて



■管理職・役員をめざしたい女性は5%以下

女性では、「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」が抜きん出て高く51.9%である。次いで、「適切な時期に仕事を辞めたい」が16.7%、「転職したい」が10.5%で続く。「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」は4.3%、「今の職場で、資格を取るなどして専門職として働きたい」は7.4%である。

男性では、「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」が最も高く35.5%で、次いで、「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」が24.5%、「適切な時期に仕事を辞めたい」が15.9%と続く。

男女で比較すると、「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」では女性が16.4ポイント高く、「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」と「今の職場で、資格を取るなどして専門職として働きたい」の合計では男性の方が23.4ポイント高い。

【性別・年代別】

表 1-7 性別・年代別 働くことについて

(%)

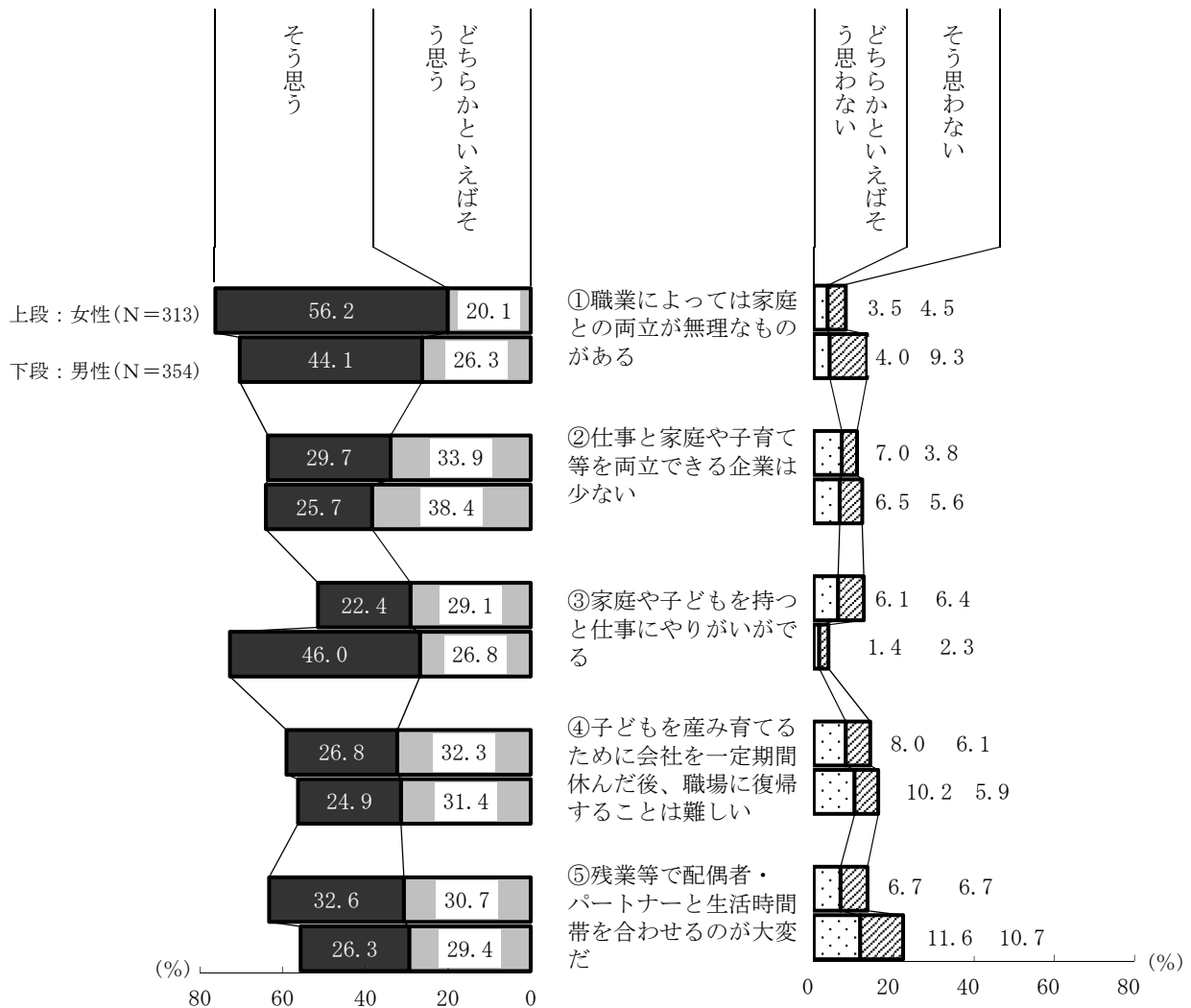
		対象者数 (人)	今の職場で、 管理職・ 役員をめざしたい	今の職場で、 資格を取 るなどして専 門職とし て働きたい	現在と同じ条件、 処遇で継続して 働きたい	転職したい	起業したい	適切な時期に 仕事を辞めたい	その他	無回答
女性	20 歳代	24	8.3	12.5	33.3	29.2	-	12.5	4.2	-
	30 歳代	44	-	11.4	45.5	13.6	2.3	13.6	13.6	-
	40 歳代	35	11.4	8.6	51.4	8.6	5.7	11.4	2.9	-
	50 歳代	26	3.8	3.8	69.2	3.8	3.8	11.5	3.8	-
	60 歳代	27	-	-	66.7	-	-	29.6	3.7	-
	70 歳以上	6	-	-	33.3	-	-	50.0	-	16.7
男性	20 歳代	22	68.2	-	4.5	13.6	4.5	9.1	-	-
	30 歳代	55	32.7	16.4	23.6	20.0	-	5.5	1.8	-
	40 歳代	71	31.0	16.9	38.0	5.6	2.8	1.4	4.2	-
	50 歳代	43	11.6	7.0	55.8	-	-	20.9	2.3	2.3
	60 歳代	40	-	5.0	50.0	2.5	-	40.0	2.5	-
	70 歳以上	14	-	-	14.3	-	-	57.1	28.6	-

年代別で見ると、女性では、20 歳代で「転職したい」が他の年代よりも高く 29.2%である。40 歳代では「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」が 11.4%で他の年代より高い。50、60 歳代では「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」が 65%を超え、50 歳代までは年代が高いほど高くなっている。

男性では、20 歳代で「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」が最も高く 68.2%にのぼる。30 歳代でも「今の職場で、管理職・役員をめざしたい」が最も高いものの 32.7%で、次いで、「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」が 23.6%で続く。50、60 歳代では「現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい」が最も高く、それぞれ 50%を超えている。

問 11 あなたは、仕事と家庭との関係についてどう思いますか。①～⑤のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(○は①～⑤のそれぞれで1つ)

図 1-7 仕事と家庭の関係についての考え方



※「どちらともいえない」「無回答」は省略

■すべての項目で半数以上が『思う』と回答

男女ともすべての項目で半数以上が『思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と回答している。

「①職業によっては家庭との両立が無理なものがある」では、男女ともに『思う』が70%を超えており、女性で「そう思う」が56.2%を占めている。

「②仕事と家庭や子育て等を両立できる企業は少ない」では、男女とも約64%が『思う』である。

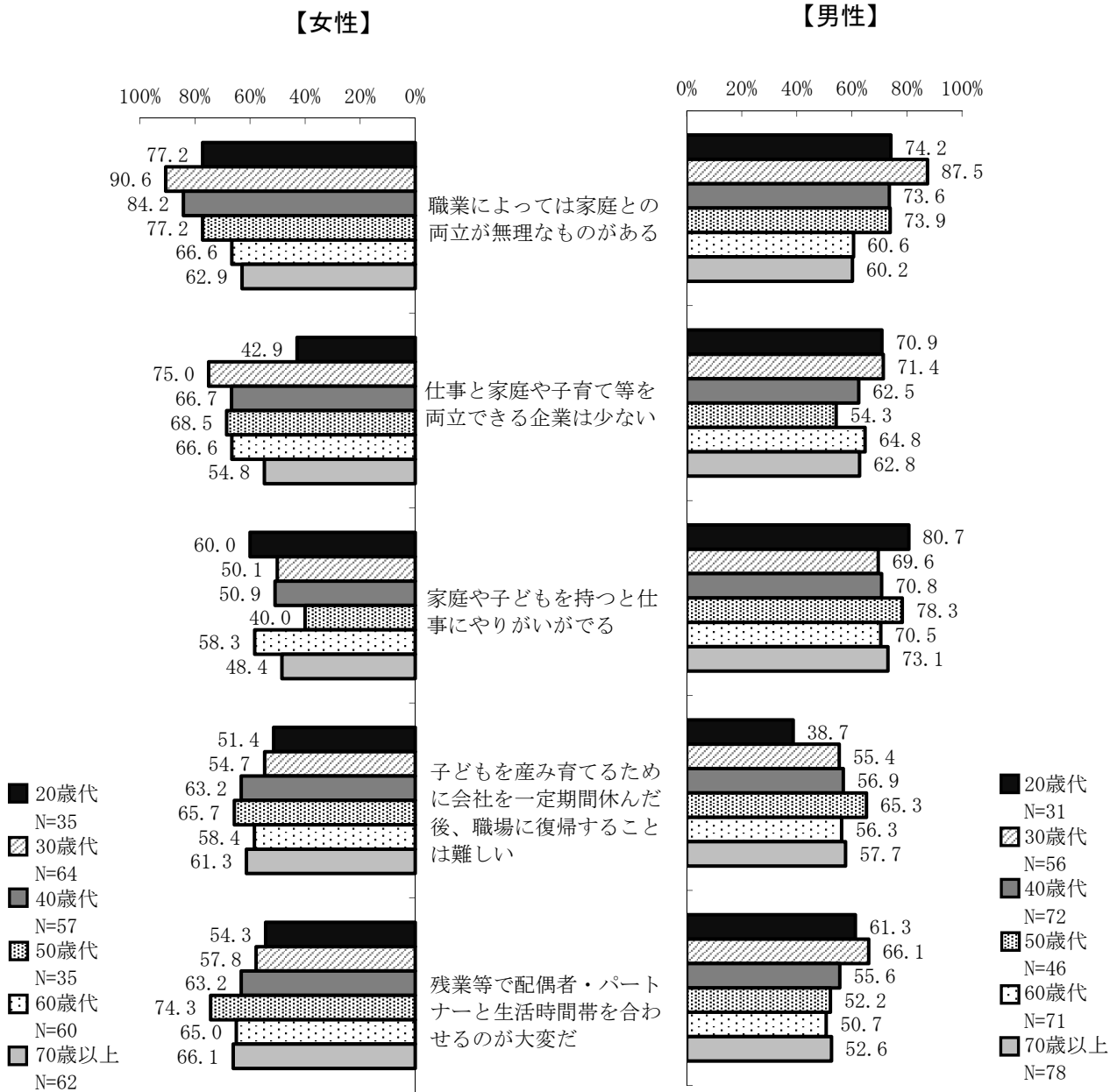
「③家庭や子どもを持つと仕事にやりがいができる」では、男性は72.8%で、女性より21.3ポイント高い。

「④子どもを産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい」では、男女でほぼ差がない。

「⑤残業等で配偶者・パートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ」では、女性63.3%・男性55.7%で女性の方が7.6ポイント高い。

【性別・年代別】

図1-8 性別・年代別 仕事と家庭の関係についての考え方
(そう思う+どちらかといえばそう思う)



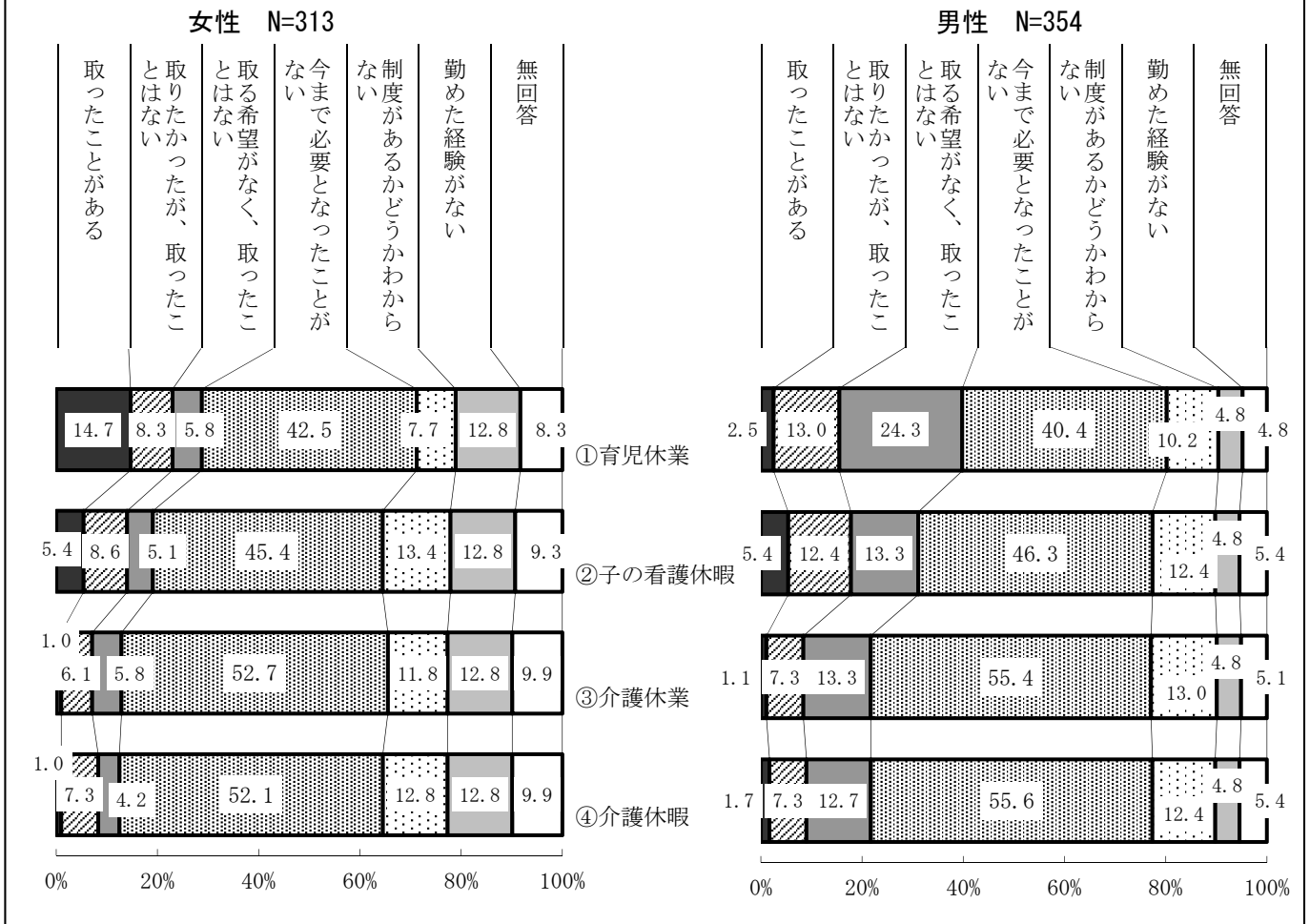
年代別で見ると、男女とも、30歳代で「職業によっては家庭との両立が無理なものがある」が90%前後で高い。

女性では、「子どもを産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい」「残業等で配偶者・パートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ」においては、20～50歳代で年代が高いほど割合が高くなっている。

男性では、「仕事と家庭や子育て等を両立できる企業は少ない」においては、20、30歳代で70%を超えている。「子どもを産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい」では50歳代で65.3%と他の年代より高い。「残業等で配偶者・パートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ」では30歳代で66.1%と他の年代より高い。

問 12 あなたは、これまでのお勤めの中で、以下のような制度を使って休暇等を取ったことがありますか。あるいは、現在取っていますか。(○は①～④のそれぞれで1つ)

図 1-9 育児・介護休暇等の取得の有無



■男女とも、約10%がそれぞれの制度自体を知らない

4つの休業・休暇ともに「今まで必要となつたことがない」が最も高く40～50%台である。「制度があるかどうかかわからない」は、女性では「育児休業」以外は、それぞれ10%強である。

<育児休業>

女性では、「取ったことがある」は14.7%、「取りたかったが、取ったことはない」は8.3%である。男性では、「取ったことがある」は2.5%である。「取りたかったが、取ったことはない」は13.0%で、女性よりやや高い。

「取る希望がなく、取ったことはない」では、女性が5.8%に対して男性は24.3%で、男性が18.5ポイント高い。

<子の看護休暇>

「取ったことがある」は男女とも5.4%であるが、「取りたかったが、取ったことはない」は女性が8.6%に対して男性は12.4%である。

<介護休業>

女性では、「取ったことがある」が1.0%、「取りたかったが、取ったことはない」は6.1%である。

男性では、「取ったことがある」が1.1%、「取りたかったが、取ったことはない」は7.3%で、男女でほとんど差がない。「取る希望がなく、取ったことはない」では、女性が5.8%に対して男性は13.3%で、男性が7.5ポイント高い。

<介護休暇>

「取ったことがある」は、女性1.0%・男性1.7%で、「取りたかったが、取ったことはない」は男女ともに7.3%で同率である。「取る希望がなく、取ったことはない」では、女性が4.2%に対して男性は12.7%で、8.5ポイント高い。

【性別・年代別】

<①育児休業>

表1-8 性別・年代別 育児・介護休暇等の取得の有無「①育児休業」

(%)

		対象者数(人)	取ったことがある	取りたかったが、取ったことはない	取る希望がなく、取ったことはない	今まで必要となっていない	制度があるかどうかわからない	勤めた経験がない	無回答
女性	20歳代	35	14.3	0.0	2.9	60.0	8.6	11.4	2.9
	30歳代	64	23.4	9.4	7.8	46.9	7.8	1.6	3.1
	40歳代	57	21.1	7.0	10.5	43.9	7.0	7.0	3.5
	50歳代	35	8.6	17.1	11.4	45.7	5.7	5.7	5.7
	60歳代	60	13.3	6.7	3.3	45.0	11.7	10.0	10.0
	70歳以上	62	4.8	9.7	0.0	22.6	4.8	37.1	21.0
男性	20歳代	31	0.0	0.0	19.4	48.4	6.5	22.6	3.2
	30歳代	56	3.6	16.1	14.3	51.8	10.7	0.0	3.6
	40歳代	72	0.0	15.3	29.2	41.7	11.1	1.4	1.4
	50歳代	46	0.0	15.2	26.1	47.8	10.9	0.0	0.0
	60歳代	71	4.2	8.5	33.8	33.8	8.5	7.0	4.2
	70歳以上	78	5.1	16.7	19.2	29.5	11.5	5.1	12.8

女性では、30、40歳代で「取ったことがある」が20%台と他の年代よりも高くなっている。50歳代では「取りたかったが、取ったことがない」が17.1%で他の年代より高い。

男性では、「取ったことがある」が30歳代で3.6%（実数2人）、60歳代で4.2%（実数3人）、70歳以上で5.1%（実数4人）で、60歳代では「取る希望がなく、取ったことがない」が33.8%と高い。

<②子の看護休暇>

表 1-9 性別・年代別 育児・介護休暇等の取得の有無「②子の看護休業」

(%)

		対象者数(人)	取ったことがある	取りたかったが、取ったことはない	取る希望がなく、取ったことはない	今まで必要となったことがない	制度があるかどうかかわからない	勤めた経験がない	無回答
女性	20 歳代	35	5.7	0.0	2.9	62.9	14.3	11.4	2.9
	30 歳代	64	7.8	7.8	6.3	50.0	23.4	1.6	3.1
	40 歳代	57	5.3	10.5	7.0	56.1	8.8	7.0	5.3
	50 歳代	35	11.4	17.1	8.6	45.7	5.7	5.7	5.7
	60 歳代	60	3.3	8.3	5.0	43.3	18.3	10.0	11.7
	70 歳以上	62	1.6	8.1	1.6	22.6	6.5	37.1	22.6
男性	20 歳代	31	0.0	3.2	6.5	54.8	9.7	22.6	3.2
	30 歳代	56	1.8	16.1	3.6	60.7	14.3	0.0	3.6
	40 歳代	72	9.7	12.5	13.9	44.4	16.7	1.4	1.4
	50 歳代	46	4.3	15.2	17.4	54.3	8.7	0.0	0.0
	60 歳代	71	2.8	9.9	16.9	47.9	9.9	7.0	5.6
	70 歳以上	78	9.0	14.1	16.7	28.2	12.8	5.1	14.1

女性では、50 歳代で「取ったことがある」が 11.4%、「取りたかったが、取ったことはない」が 17.1%で年代層の中で最も高い。40 歳代でも「取りたかったが、取ったことはない」が 10.5%とやや高くなっている。

男性では、30 歳代で「取りたかったが、取ったことはない」が他の年代よりやや高い。40 歳代と 70 歳以上で「取ったことがある」が他の年代より高い。50～70 歳以上では「取る希望がなく、取ったことはない」が 17%前後である。

<③介護休業>

表 1-10 性別・年代別 育児・介護休暇等の取得の有無「③介護休業」

(%)

		対象者数(人)	取ったことがある	取りたかったが、取ったことはない	取る希望がなく、取ったことはない	今まで必要となったことがない	制度があるかどうかかわからない	勤めた経験がない	無回答
女性	20 歳代	35	0.0	0.0	5.7	62.9	17.1	11.4	2.9
	30 歳代	64	0.0	4.7	6.3	65.6	18.8	1.6	3.1
	40 歳代	57	0.0	5.3	8.8	66.7	7.0	7.0	5.3
	50 歳代	35	0.0	17.1	5.7	62.9	5.7	5.7	2.9
	60 歳代	60	5.0	6.7	6.7	43.3	15.0	10.0	13.3
	70 歳以上	62	0.0	4.8	1.6	24.2	6.5	37.1	25.8
男性	20 歳代	31	0.0	0.0	6.5	54.8	12.9	22.6	3.2
	30 歳代	56	0.0	0.0	8.9	75.0	12.5	0.0	3.6
	40 歳代	72	0.0	1.4	16.7	68.1	11.1	1.4	1.4
	50 歳代	46	0.0	10.9	15.2	63.0	10.9	0.0	0.0
	60 歳代	71	1.4	8.5	18.3	46.5	12.7	7.0	5.6
	70 歳以上	78	3.8	17.9	10.3	33.3	16.7	5.1	12.8

女性では、60 歳代のみ「取ったことがある」が 5.0%で、他の年代は 0.0%である。50 歳代では「取りたかったが、取ったことはない」が 17.1%と他の年代よりも 10 ポイント以上も高い。

男性では、60 歳代、70 歳以上で「取ったことがある」が、それぞれ 1.4%（実数 1 人）、3.8%（実数 3 人）で、70 歳以上では「取りたかったが、取ったことはない」が 17.9%と他の年代より高い。

<④介護休暇>

表 1-11 性別・年代別 育児・介護休暇等の取得の有無「④介護休暇」

(%)

		対象者数(人)	取ったことがある	取りたかったが、取ったことはない	取る希望がなく、取ったことはない	今まで必要とならなかった	わからぬ	制度があるかどうか	勤めた経験がない	無回答
女性	20 歳代	35	0.0	0.0	5.7	62.9	17.1	11.4	2.9	
	30 歳代	64	1.6	1.6	6.3	65.6	20.3	1.6	3.1	
	40 歳代	57	0.0	7.0	5.3	68.4	8.8	7.0	3.5	
	50 歳代	35	0.0	22.9	5.7	54.3	5.7	5.7	5.7	
	60 歳代	60	1.7	11.7	3.3	45.0	15.0	10.0	13.3	
	70 歳以上	62	1.6	4.8	0.0	22.6	8.1	37.1	25.8	
男性	20 歳代	31	0.0	0.0	6.5	54.8	12.9	22.6	3.2	
	30 歳代	56	0.0	0.0	8.9	73.2	14.3	0.0	3.6	
	40 歳代	72	1.4	1.4	16.7	65.3	11.1	1.4	2.8	
	50 歳代	46	0.0	10.9	15.2	65.2	8.7	0.0	0.0	
	60 歳代	71	1.4	9.9	16.9	46.5	12.7	7.0	5.6	
	70 歳以上	78	5.1	16.7	9.0	37.2	14.1	5.1	12.8	

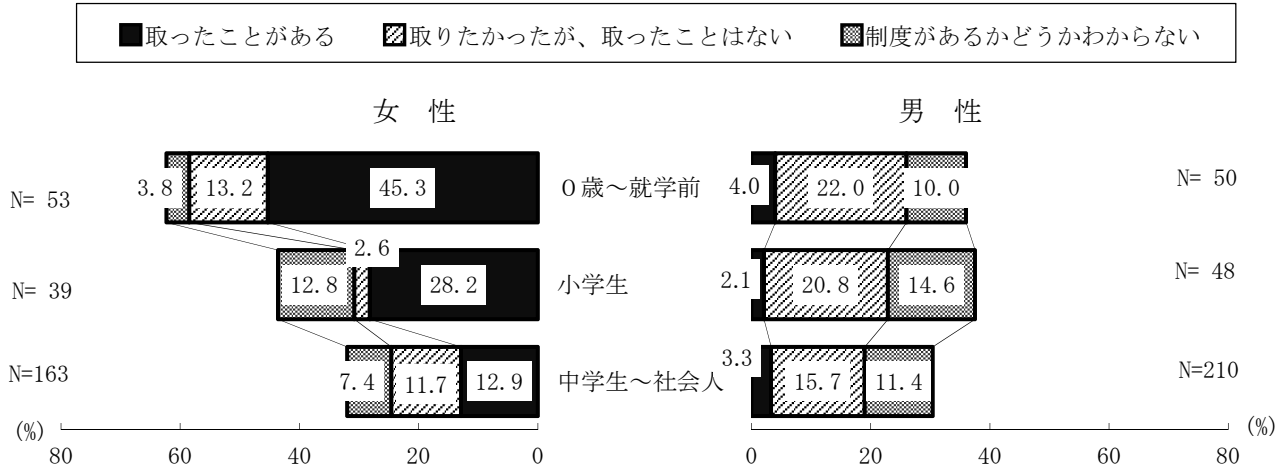
女性では、30、60 歳代、70 歳以上で「取ったことがある」が1%台である。50 歳代では、「取りたかったが、取ったことはない」が22.9%と他の年代より抜きん出て高い。

男性では、70 歳以上で「取ったことがある」が5.1%、「取りたかったが、取ったことはない」が16.7%と他の年代より高い。40、50、60 歳代では、「取る希望がなく、取ったことはない」が15%を超えている。

【性別・子どもの年齢別】

図1-10 性別・子どもの年齢別 育児・介護休暇等の取得の有無

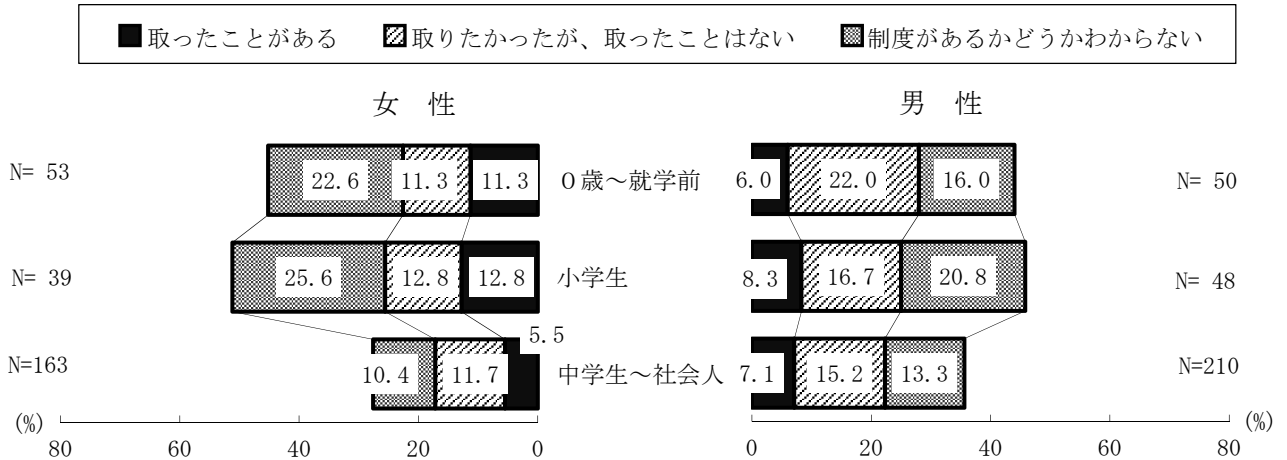
<育児休業>



子どもの年齢別で見ると、女性では、「取ったことがある」は「0歳～就学前」で45.3%、「小学生」で28.2%と、子どもの年齢が低いほど「取ったことがある」は高くなっている。

男性では、「取ったことがある」は、子どもの年齢には関係なく5%未満である。

<子の看護休暇>



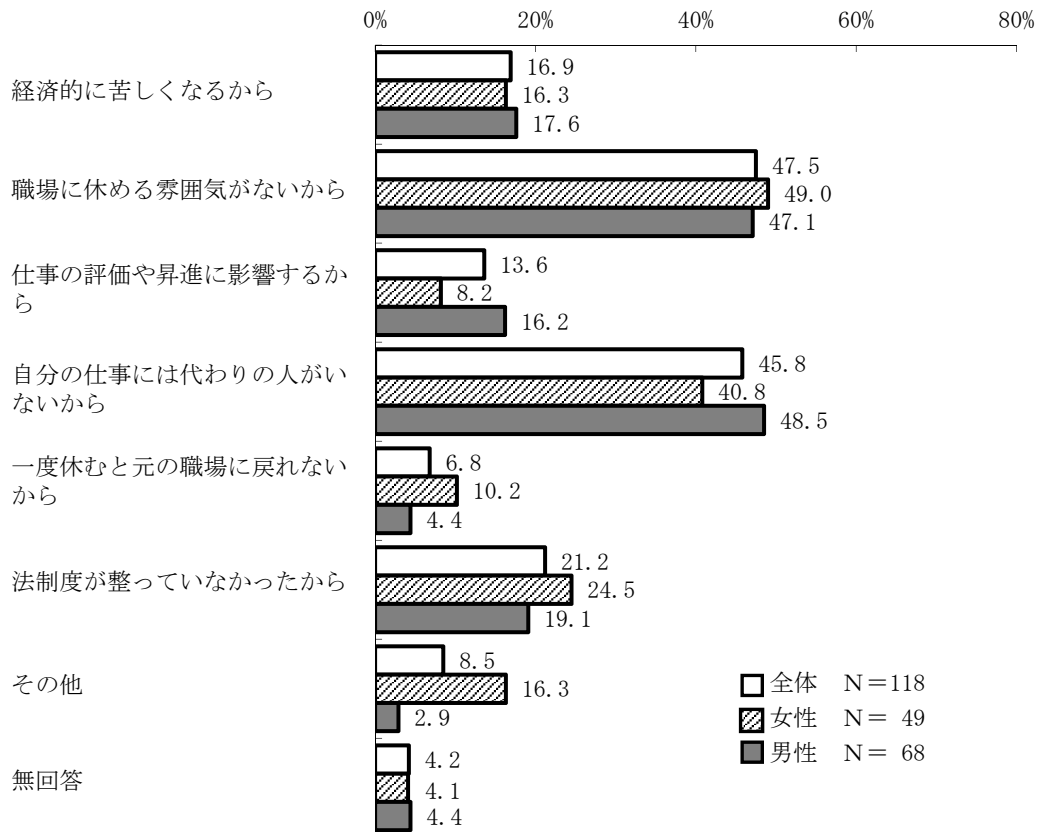
子どもの年齢別で見ると、女性では、「0歳～就学前」「小学生」で「取ったことがある」「取りたかったが、取ったことはない」が各10%強である。「制度があるかどうか分からない」は20%を超えている。

男性では、子どもの年齢にかかわらず、「取ったことがある」が10%未満である。「取りたかったが、取ったことはない」は「0歳～就学前」では22.0%で最も高い。

問 12 で「取りたかったが、取ったことがない」と答えた方におたずねします。

問 12-1 取得することができなかった理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(〇はいくつでも)

図 1-11 育児・介護休暇等を取得することができなかった理由



■男女とも、「休める雰囲気がない」「代わりがない」が2大理由

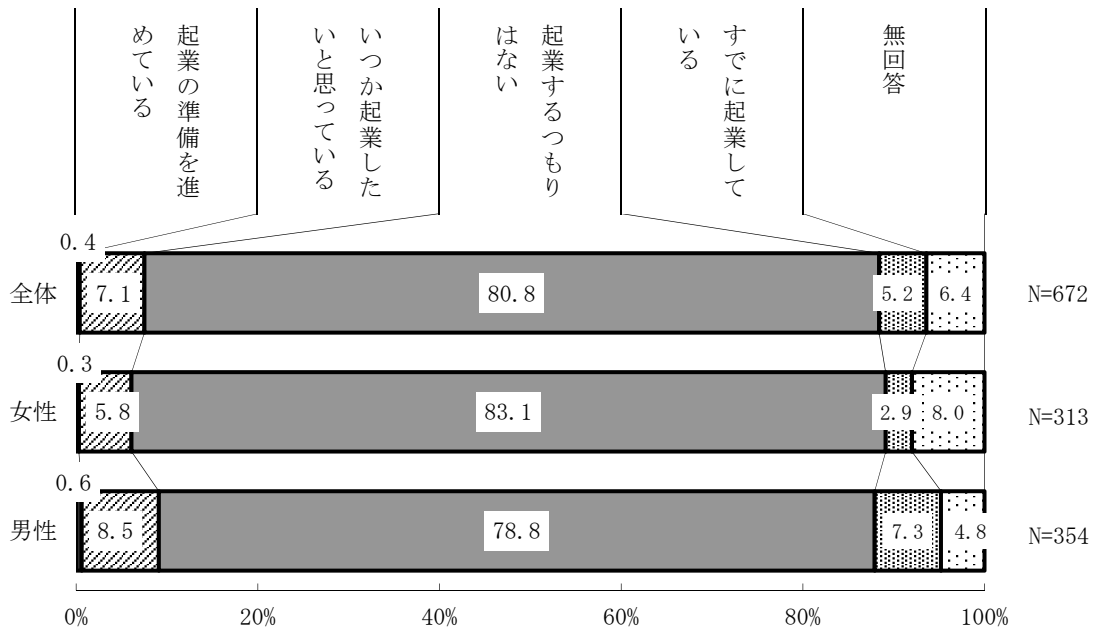
女性では、「職場に休める雰囲気がないから」が49.0%、「自分の仕事には代わり的人がいがないから」が40.8%で2大理由である。

男性では、「自分の仕事には代わり的人がいがないから」が48.5%、「職場に休める雰囲気がないから」が47.1%で2大理由である。

「仕事の評価や昇進に影響するから」「自分の仕事には代わり的人がいがないから」では、男性の方が女性より約8ポイント高く、「一度休むと元の職場に戻れないから」「法制度が整っていなかったから」では、女性の方が男性より5~6ポイント高くなっている。

問 13 近年、起業に関心が高まっています。あなたは、起業についてどのように思いますか。
 (○は1つ)

図 1-12 起業についての考え



■ 「起業の準備を進めている」「いつかは起業したい」は、女性の6.1%、男性の9.1%

「起業するつもりはない」が女性83.1%・男性78.8%である。「いつか起業したいと思っている」は、女性の5.8%、男性の8.5%となっている。

【性別・年代別】 表 1-12 性別・年代別 起業についての考え (%)

		対象者数 (人)	起業についての考え (%)				無回答
			準備を進めている	いつか起業したいと思っている	起業するつもりはない	すでに起業している	
女性	20歳代	35	-	14.3	85.7	-	-
	30歳代	64	-	7.8	90.6	-	1.6
	40歳代	57	-	7.0	86.0	3.5	3.5
	50歳代	35	-	8.6	82.9	-	8.6
	60歳代	60	1.7	1.7	85.0	6.7	5.0
	70歳以上	62	-	-	69.4	4.8	25.8
男性	20歳代	31	3.2	16.1	80.6	-	-
	30歳代	56	-	14.3	78.6	7.1	-
	40歳代	72	1.4	13.9	72.2	9.7	2.8
	50歳代	46	-	13.0	76.1	8.7	2.2
	60歳代	71	-	1.4	84.5	8.5	5.6
	70歳以上	78	-	-	80.8	6.4	12.8

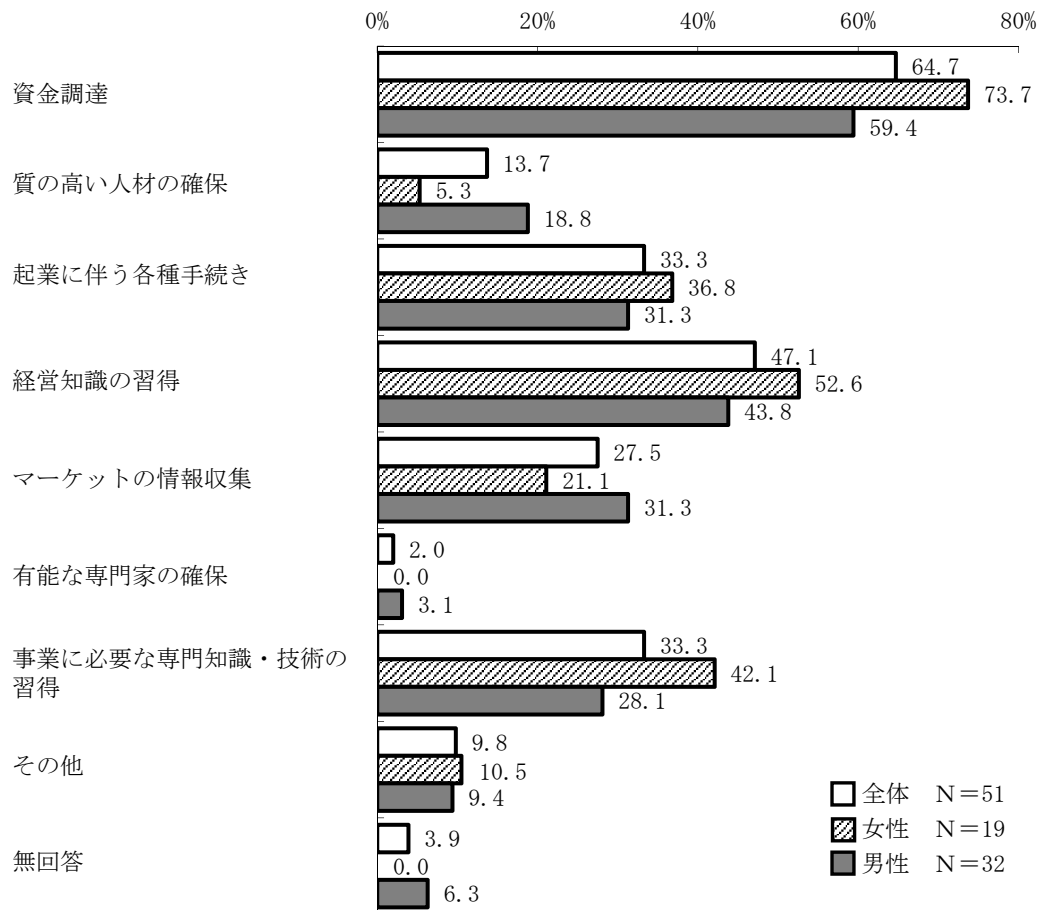
年代別でみると、「起業の準備を進めている」と「いつか起業したいと思っている」を合わせた割合は、女性では、20歳代で14.3%と二桁であり、30～50歳代では7～8%台である。

男性では、「起業の準備を進めている」と「いつか起業したいと思っている」を合わせた割合は、20歳代で19.3%である。30～50歳代でも13～15%台である。

問 13 で「起業の準備を進めている」「いつか起業したいと思っている」と答えた方におたずねします。

問 13-1 あなたは、起業するにあたってどのような不安がありますか。(〇はいくつでも)

図 1-13 起業するにあたっての不安



■男女とも、「資金調達」と「経営知識の習得」が大きな不安

女性では、「資金調達」(73.7%)、「経営知識の習得」(52.6%)、「事業に必要な専門知識・技術の習得」(42.1%)、「起業に伴う各種手続き」(36.8%)が30%を超えている。

男性では、「資金調達」(59.4%)、「経営知識の習得」(43.8%)、「起業に伴う各種手続き」「マーケットの情報収集」(それぞれ31.3%)が30%を超えている。

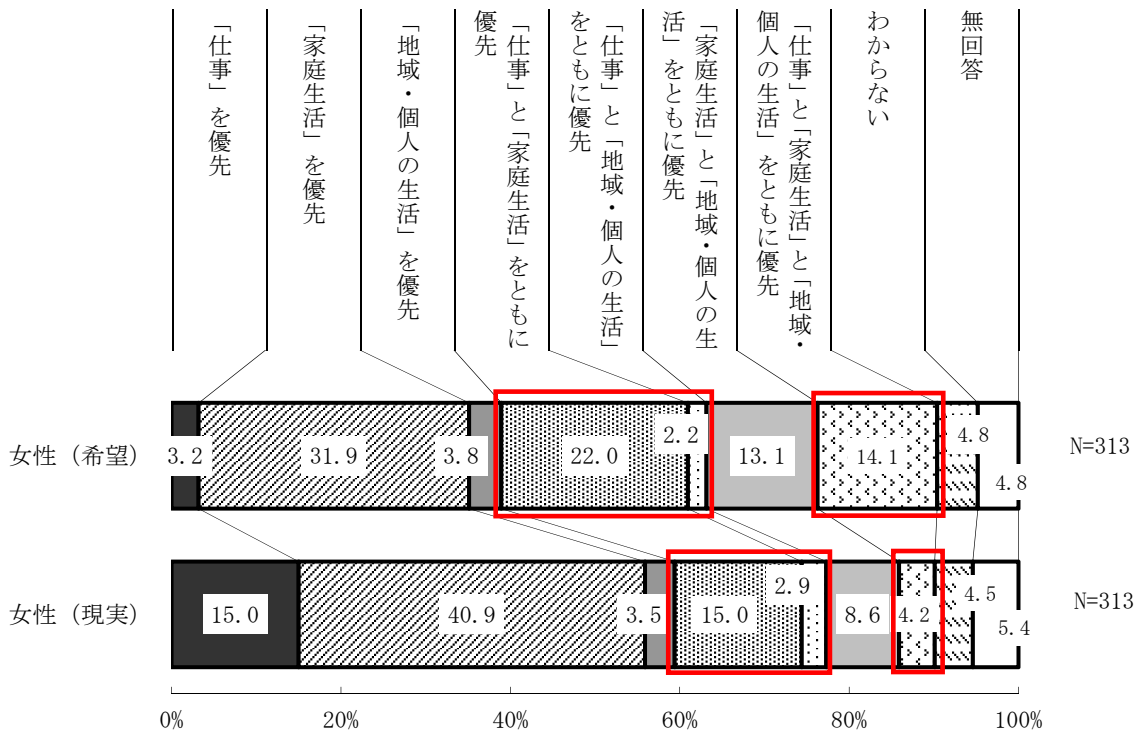
「質の高い人材の確保」「マーケットの情報収集」は、男性が高く、「資金調達」「経営知識の習得」「事業に必要な専門知識・技術の習得」では女性が高くなっている。

問 14 生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について伺います。

(1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

図 1-14 ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（女性）



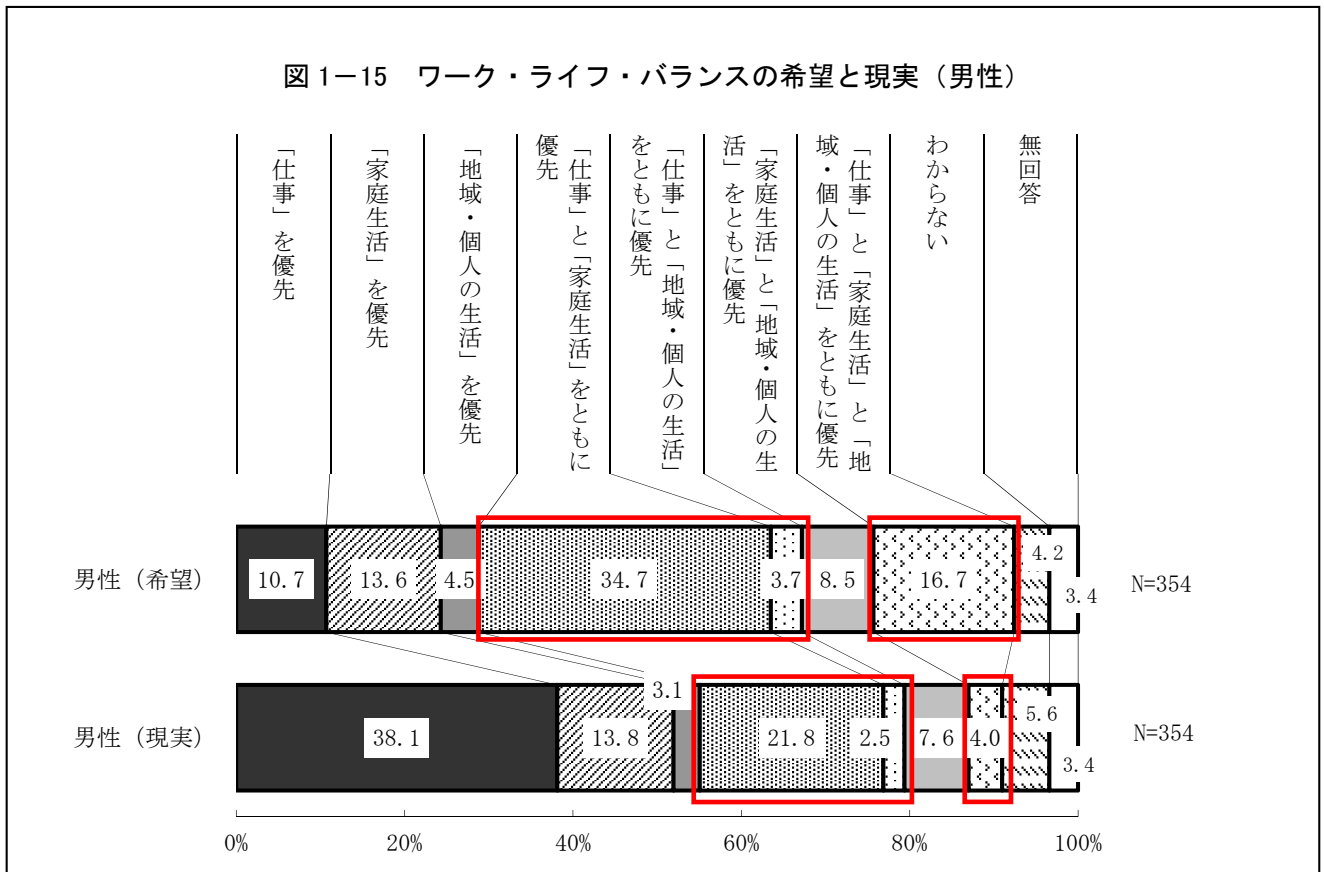
■現実に、仕事と生活を両立している女性は5人に1人

生活における仕事とその他の生活のバランスについて、希望と現実をたずねたところ、【希望】では、『家庭生活』を優先が最も高く 31.9%であるのに対して、【現実】でも『家庭生活』を優先が最も高く 40.9%である。

複線的に暮らす『仕事と生活を両立』*は、【希望】が 38.3%なのに対して、【現実】では 22.1%で、16.2ポイント低くなっている。

*『仕事と生活を両立』とは、『仕事』と『家庭生活』をともに優先+『仕事』と『地域・個人の生活』をともに優先+『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先の合計

図 1-15 ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（男性）

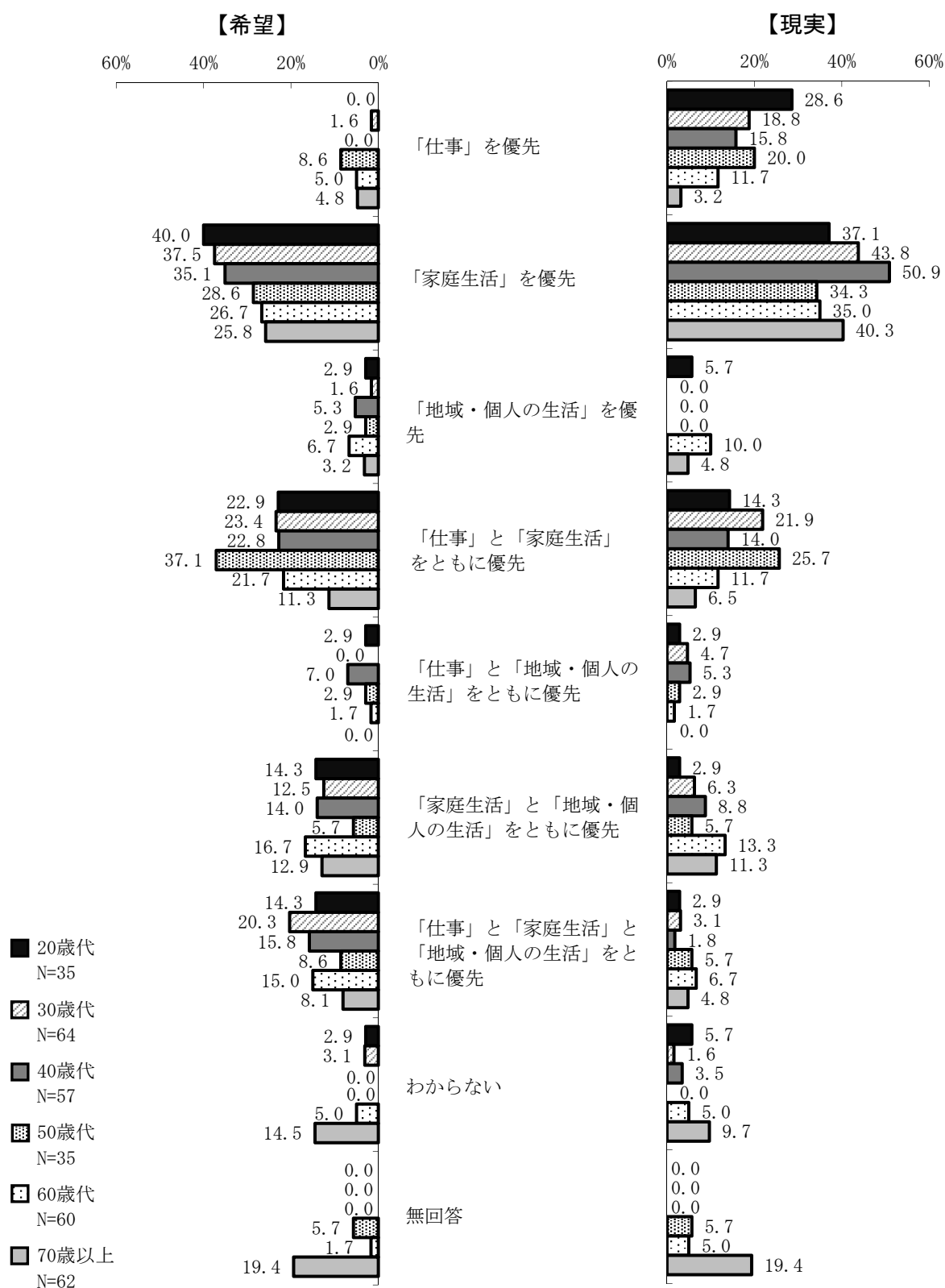


■ 現実には、男性の40%弱が仕事優先、仕事と生活を両立している割合は30%弱

【希望】では、『仕事』と『家庭生活』をともに優先が最も高く 34.7%であるのに対して、【現実】では『仕事』を優先が最も高く 38.1%である。

複線的に暮らす『仕事と生活を両立』*は、【希望】が 55.1%なのに対して、【現実】では 28.3%で、26.8ポイント低くなっている。

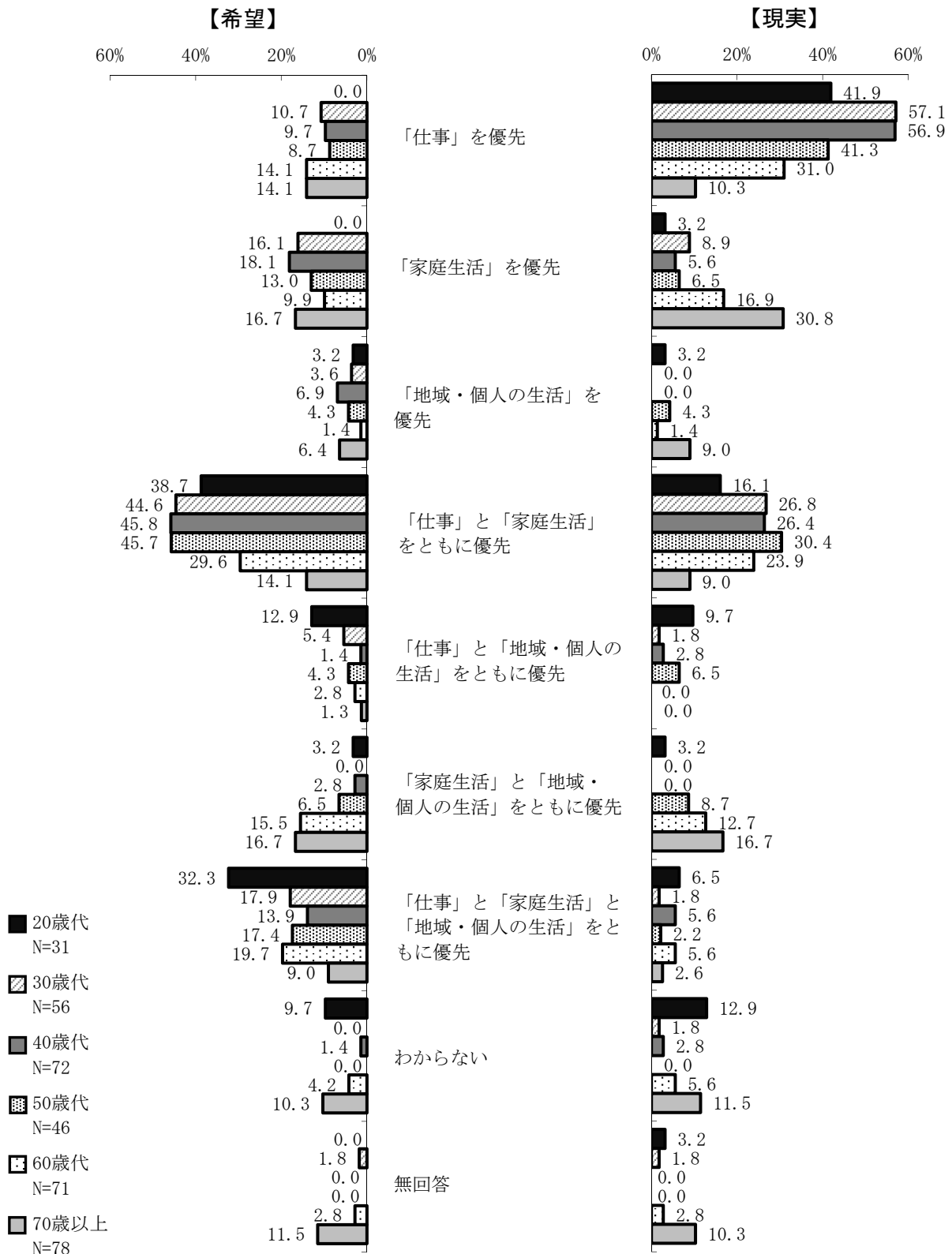
【性別・年代別】 図1-16 性別・年代別 ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（女性）



【希望】では、『「家庭生活」を優先』は年代が低いほど高くなっている。『「仕事」と『家庭生活』をともに優先』では50歳代で37.1%と他の年代層より10ポイント以上高い。

【現実】では、『「仕事」を優先』は20歳代が高く、『「家庭生活」を優先』は40歳代が高い。『「仕事」と『家庭生活』をともに優先』では30、50歳代が他の年代より高い。

図1-17 性別・年代別 ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（男性）

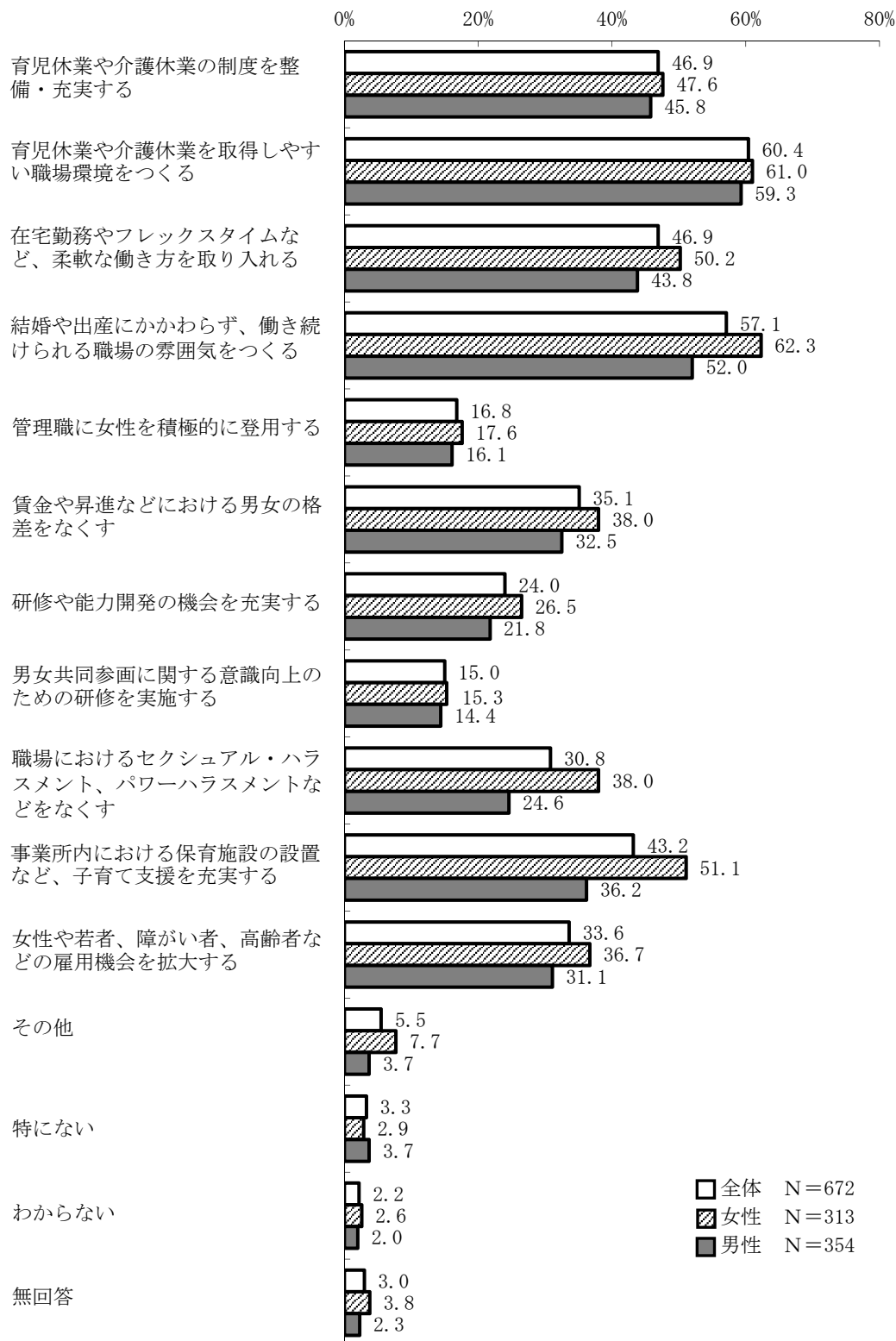


【希望】では、20歳代で『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先が年代層の中で最も高く32.3%である。

【現実】では、30歳代と40歳代で『仕事』を優先が高く60%近くを占める。50歳代では『仕事』と『家庭生活』をともに優先が30.4%とやや高い。

問 15 あなたは、男女がいきいきと働ける職場をつくるためには、企業は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

図 1-18 男女がいきいきと働ける職場をつくるために企業が力を入れること



■休みを取りやすい、働き続けられる職場の雰囲気づくりが重要

女性では、第1位「結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる」(62.3%)、

2位「育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる」(61.0%)、3位「事業所内における保育施設の設置など、子育て支援を充実する」(51.1%)、4位「在宅勤務やフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる」(50.2%)の順で高くなっている。

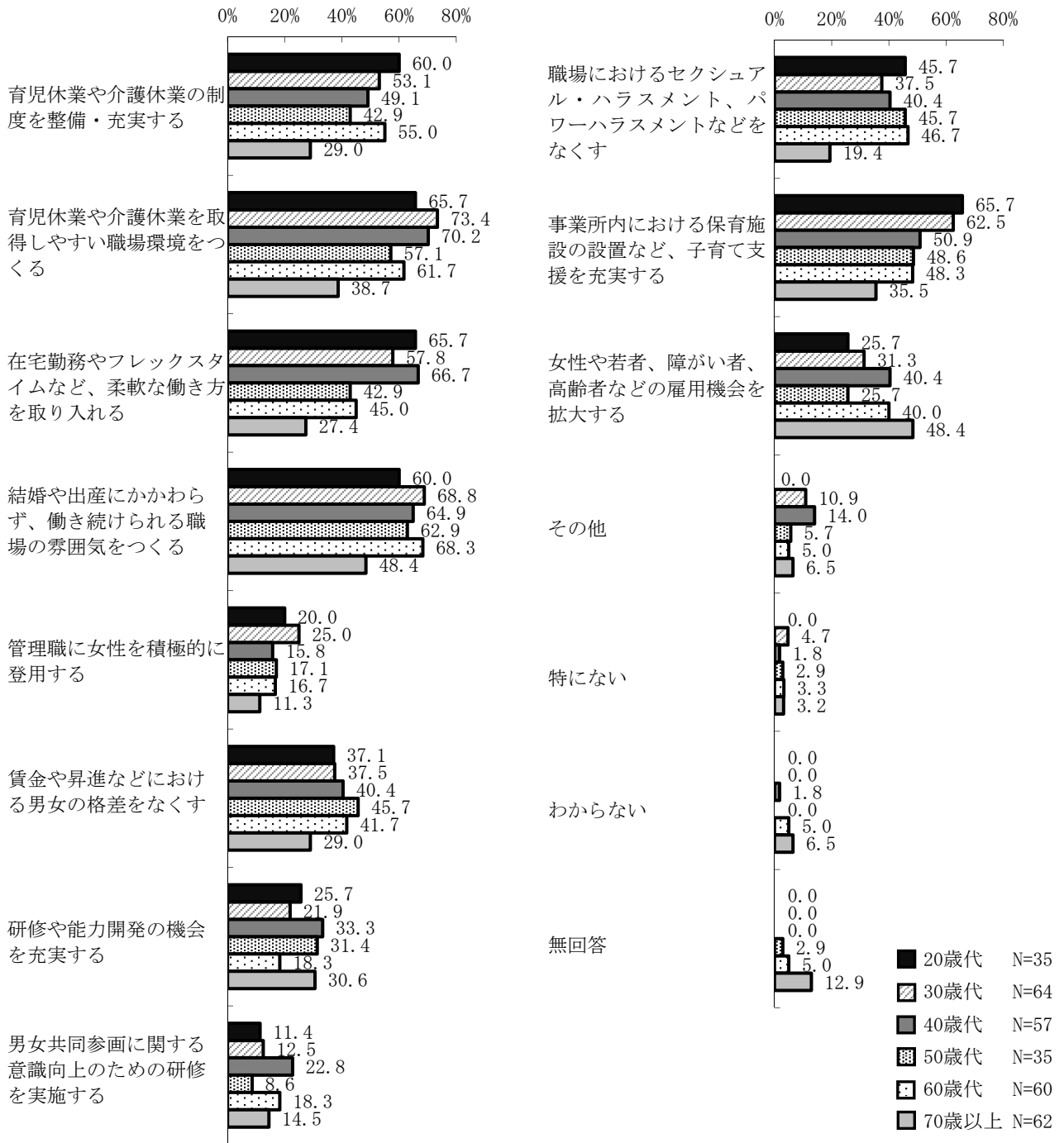
男性では、第1位「育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる」(59.3%)、2位「結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる」(52.0%)、3位「育児休業や介護休業の制度を整備・充実する」(45.8%)、4位「在宅勤務やフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる」(43.8%)の順で高くなっている。

すべての項目で女性の割合の方が男性の割合より高く、特に「結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる」「職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントなどをなくす」「事業所内における保育施設の設置など、子育て支援を充実する」では10~15ポイントの開きがある。

【性別・年代別】

図1-19 性別・年代別 男女がいきいきと働ける職場をつくるために企業が力を入れること

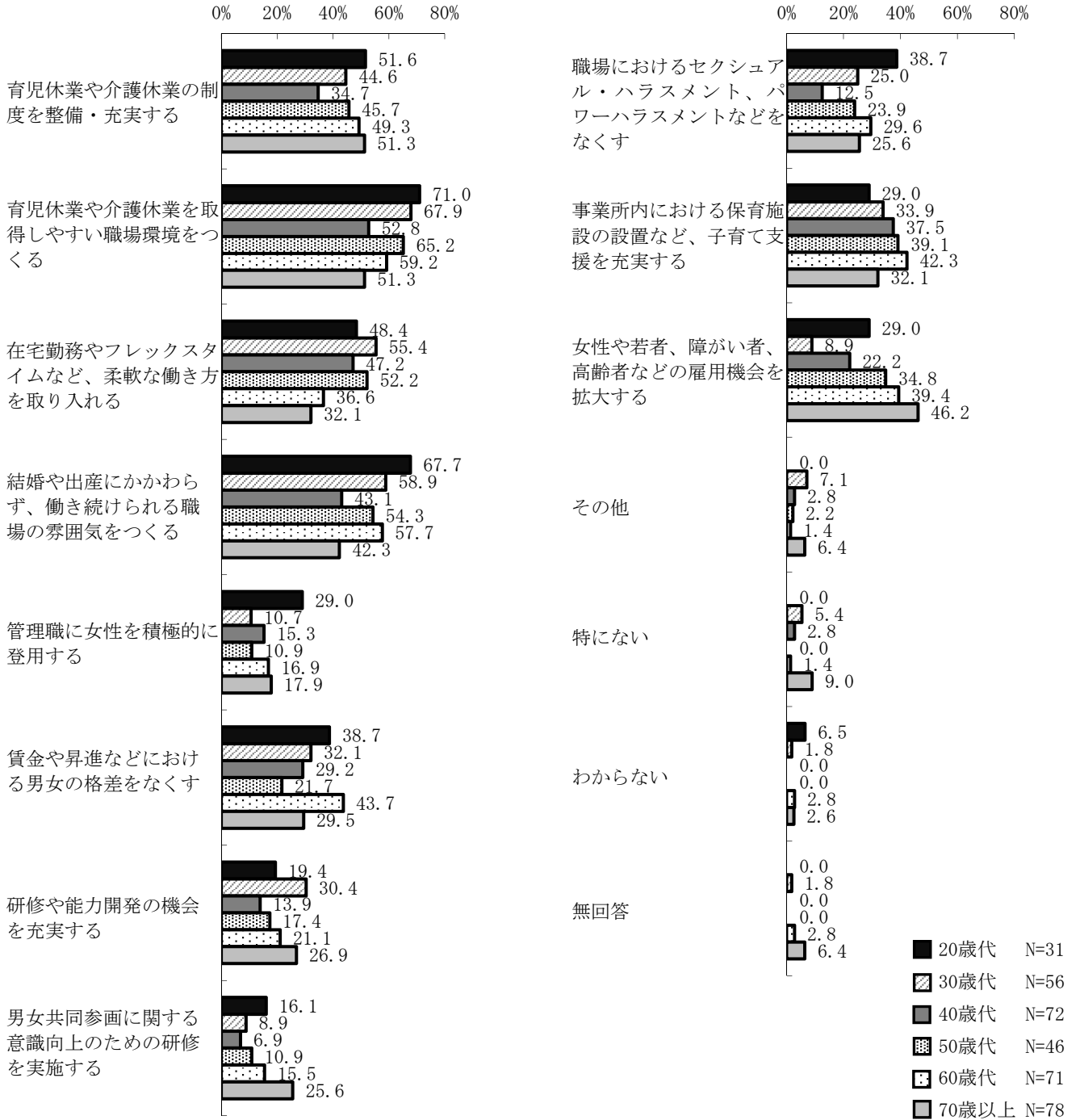
【女性】



年代別でみると、女性では、20歳代で「育児休業や介護休業の制度を整備・充実する」「事業所内における保育施設の設置など、子育て支援を充実する」が年代層の中で最も高く各60.0%、65.7%である。30歳代と40歳代で「育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる」は70%台である。

「在宅勤務やフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる」は20～40歳代で高い。70歳以上を除く20～60歳代で「結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる」が60%を超えている。

【男性】



男性では、20歳代で「育児休業や介護休業の制度を整備・充実する」「結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる」「管理職に女性を積極的に登用する」「職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントなどをなくす」が他の年代と比べて高い。